

# PASKEN JOURNAL Vol.15

## モノサイトからのIFN- $\gamma$ 産生と担癌患者における オートクライン/パラクライン自然免疫活性化機構

宇野賀津子、三石瑠子、菅 典道、羽室淳爾、松崎智彦、奥野清隆、早乙女秀雄、藤原大美、岸田綱太郎 .....1

## 担癌患者の血中IL-10とTGF- $\beta$ のIL-12刺激IFN- $\gamma$ 産生への影響

宇野賀津子、三石瑠子、谷川真理、瀬戸口純子、富田淳司、平井紀彦、奥野清隆、早乙女秀雄、藤原大美、岸田綱太郎 .....13

## 有用乳酸菌選定のためのスクリーニング①

### ヒト末梢血における植物性乳酸菌のin vitro免疫賦活効果

岸 惇子、小久保あおい、赤谷 薫、扇谷えり子、藤田哲也、岸田綱太郎 .....21

## 自家製発酵乳「カスピ海ヨーグルト」の由来と変遷に関する微生物学的検討

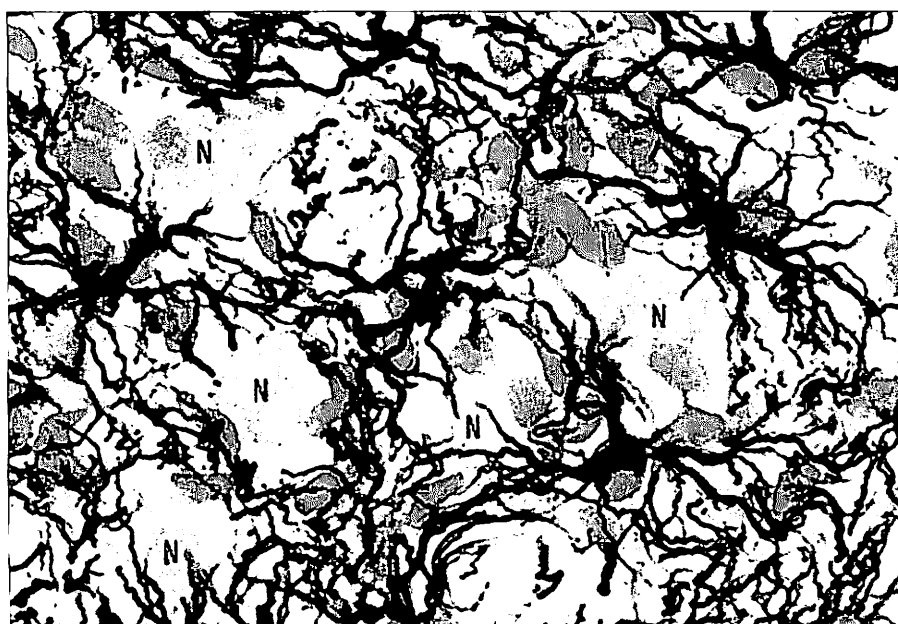
赤谷 薫 .....27

## マウスを用いたラブレ菌の免疫賦活効果についての検討

小久保あおい、岸 惇子、赤谷 薫、扇谷えり子、岸田綱太郎 .....40

## 高速液体クロマトグラフィーによる、クロレラ培養物回収時の加熱処理 およびpH調整条件の検討

扇谷えり子、平林博樹、田邊幾之助、大垣昌弘 .....44



表紙説明： 顔面神経切断後、1週間目。顔面神経核運動ニューロンの細胞体を取り巻くGFAP陽性細胞（アストロサイト）。

赤は細胞核で、Nは顔面神経ニューロンの核を示す。緑はアストロサイトに存在する中間系フィラメント‘GFAP’を示す。休止期のアストロサイトではGFAPの発現は弱いですが、神経に障害が起こるとアストロサイトは活性化され、このようにGFAPを強く発現するようになる。(撮影：安田あう子)